

JFE継手株式会社の株式取得について



JFE継手株式会社の株式取得について

本件の位置付け・取引概要・戦略的意義

グループ中期経営計画「PLAN2022」において掲げるとおり、自動車業界における大変革に対応すべく、既存事業の更なる強化と新製品・新事業の創出を推進

本件はリケングループにおける非ICE事業の拡大を強力に推進し、変革をもたらすものと位置付け

既存事業の更なる強化

【ICE(自動車)】

65%

- ・選択と集中による競争力強化、勝ち残り・残存者利益の享受
- ・製品性能向上を通じた環境負荷低減への継続的な貢献
- ・次世代ICE部品(水素、アンモニアetc.)対応製品の販売・製造。
- ・継続的な改善活動による競争力強化
- ・M&Aによる収益力強化、製品ラインナップの拡充

【非ICE】

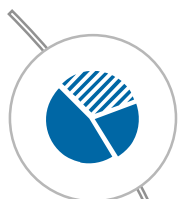
35%

- ・積極的な経営資源投入による次世代コア製品の創出と拡大
- ・配管継手:ライフラインを支える重要部品
- ・熱エンジニアリング:ガス焼却炉⇒電気炉への置換で
カーボンニュートラルに貢献
- ・EMC:EVや電子機器・情報通信システムへの対応

新製品・新事業の創出

株式を取得する 対象会社	JFE継手株式会社
本件取引の概要	76.56%持分に相当する株式をJFEスチール株式会社より取得
本件後 想定株主構成	<ul style="list-style-type: none">■ 当社 : 76.56%■ JFEスチール株式会社 : 9.99%■ 大阪ガス株式会社 : 6.06%■ その他の株主(複数社) : 7.39%
戦略的意義	<ul style="list-style-type: none">■ 非ICE事業の拡大■ 親和性の高い事業ポートフォリオの拡充■ 高品質な商品ラインアップの拡充/拡販■ 強固な顧客基盤の獲得■ 研究開発力の強化
想定スケジュール	<ul style="list-style-type: none">■ 株式の取得は2023年3月31日を予定■ 当社連結業績には2023年度第1四半期から反映予定

JFE継手
×
リケン



非ICE事業の拡大

- 当社として安定的かつ継続的な成長を実現するための事業ポートフォリオの強化を実現



当社事業との親和性の高い事業ポートフォリオの拡充

- 顧客基盤/商品の品揃え/研究開発等に関する補完関係が強く、当社事業との高い相乗効果を期待



高品質な商品ラインアップの拡充/拡販

- 両社の知見・製品を融合することで両社の顧客にとって最適なソリューションの提供を実現



強固な顧客基盤の獲得

- 対象会社は高い技術力を背景に多くの顧客と強固なリレーションを有することから、当社商品拡販を見込む



研究開発力及び生産体制の強化

- 両社の研究開発力・ノウハウを融合することで、生産性改善を実現し、顧客への高品質での安定供給を実現

JFE継手株式会社について

概要・拠点・製品

JFE継手株式会社は、1935年に創業し、ユビワ印ブランドとして知られる高品質な継手製造、プレハブ配管加工等を手掛ける配管システムの専門メーカー

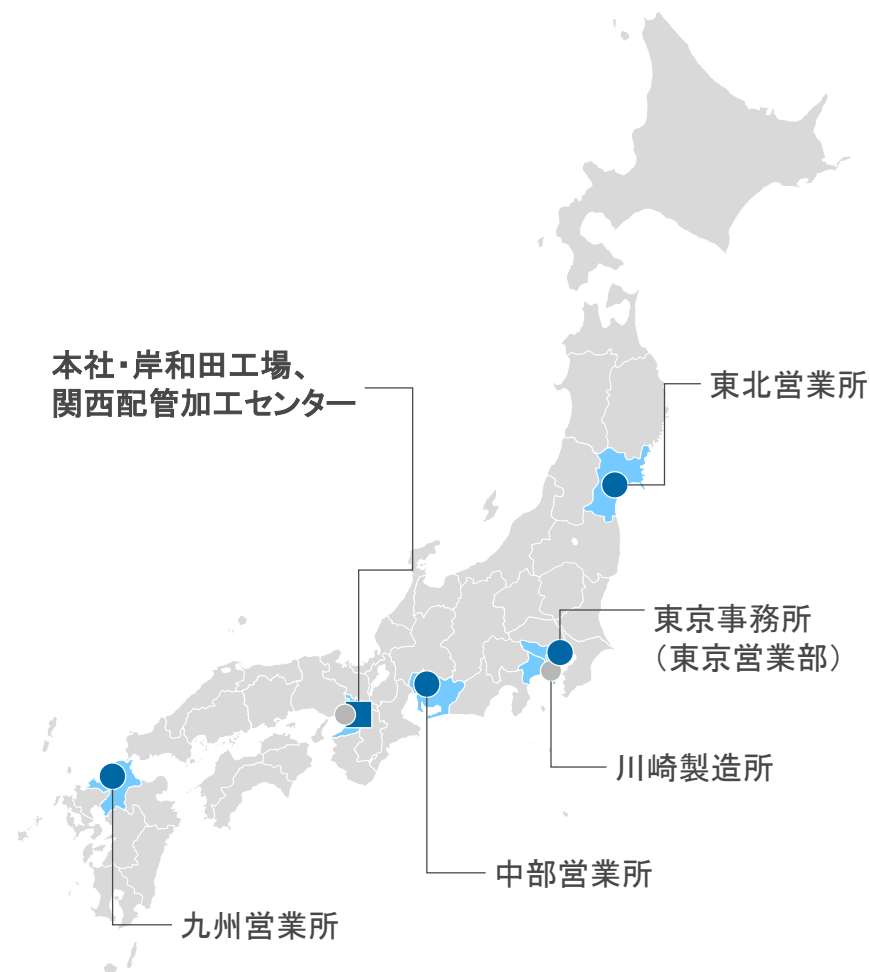
名称		JFE継手株式会社		
代表者の役職・氏名		代表取締役社長 寺内 琢雅		
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ■ガス、水道、その他配管用継手および建築・産業機械部品の製造並びに販売、プレハブ配管加工や高強度FCDの新製品開発 		
資本金		9億5,895万円		
設立年月日		1935年4月27日		
連結業績	決算期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
	売上高	13,241百万円	11,428百万円	12,469百万円
	営業利益	400百万円	75百万円	278百万円

大阪府岸和田市に本拠を置き、全国への販売網を有する

□ 本社工場所在地 ■ 大阪府岸和田市

○ 営業所所在地 ■ 大阪府
■ 東京都
■ 宮城県
■ 愛知県
■ 福岡県

● 生産拠点 ■ 岸和田工場(大阪府)
■ 関西配管加工センター(大阪府)
■ 川崎製造所(神奈川県)



汎用品から特注品まで幅広く配管継手を取り扱っており、プレハブ事業や樹脂配管等も含め多岐にわたる製品ラインナップを保有

ガス用

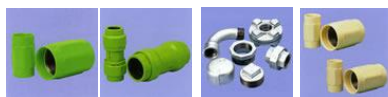
給水・給湯・空調用

消火用

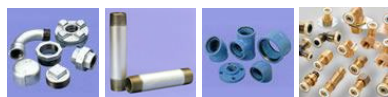
その他

継手

- 防食ねじ込み式継手 (PLS継手、PLSアイボリー継手)
- 防食メカニカル継手 (PLSM継手)
- ねじ込み式可鍛鉄製管継手



- ねじ込み式可鍛鉄製管継手
- ねじ込み式鋼管製管継手 (パイプニップル)
- コア継手
- ステンレス鋼製ねじ込み管継手
- 樹脂管用ワンタッチ継手 (ワンクイック)



- ねじ込み式可鍛鉄製管継手
- 圧力管用ねじ込み式可鍛鉄製管継手
- 消火配管用溶接分岐サドル
- ハウジング形管継手 (ベストジョイント)
- ねじ部シール材塗布 ねじ込み式可鍛鉄製管継手



- 高強度FCD (シフトフォーク、鉄道用歯車)



FP (フレキ管)

- フレキシブル管
- 金属可とう管 (メタルホース)



NEO

- フレキ管用継手 (ネオジョイント)



樹脂単品

- ポリエチレン管連絡継手 (トランジション継手)
- 活管分岐用継手 (SSB)



- ポリブテン管



プレハブ配管システム

- 金属管に対してネジ加工、グルーピング加工、溶接加工等を施したプレハブ品を製造
- ポリブテン管等の樹脂管を使用し、主に住宅用の給水・給湯配管、消火用配管等のプレハブ品を製造



■昭和23年に熊谷工場(埼玉県)でねじ込み式可鍛鉄製管継手の生産を開始

■水配管用メカニカル継手の分野に強みを持ち、業界標準となる製品を数々市場投入

★LAカップリング、溶接サドル、★ZD継手(シール付き継手)、★グローブ形ハウジング継手等

※★印は業界トップシェア

■平成23年に株式会社CKサンエツと配管機器事業に関する業務提携契約を締結。

富山県高岡市に株式会社リケンCKJVを設立。

■主要製品



ねじ込み継手



LAカップリング



トップジョイント(ハウジング継手)



ZD継手



サスフィット



TLジョイント



ZDSUS継手



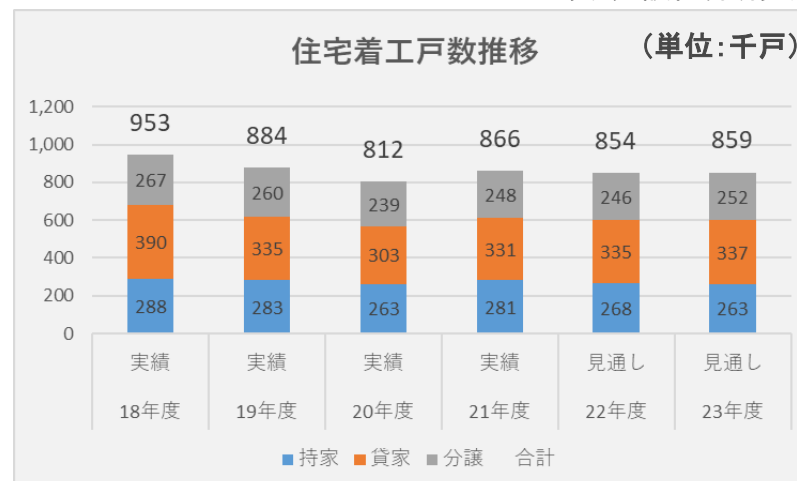
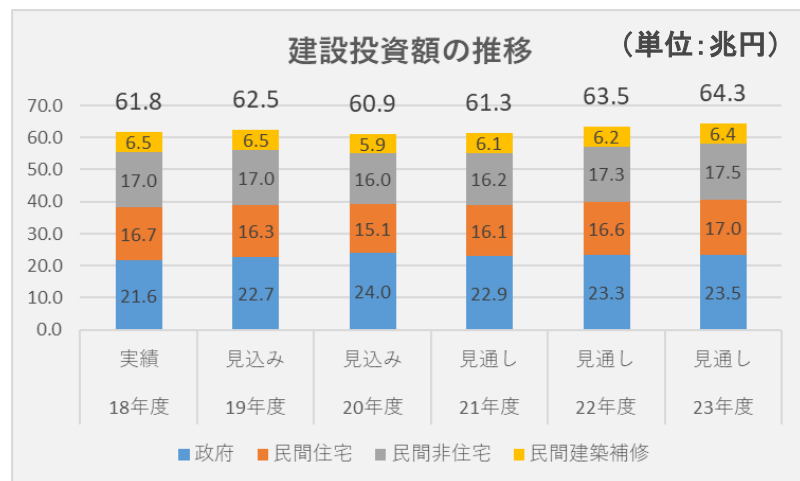
溶接サドル



製造拠点:リケンCKJV

■建設投資と住宅着工推移

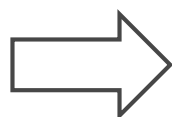
出典：建設経済研究所



- ・建設投資は首都圏、関西圏や大都市圏での再開発案件、万博関連、リニア新幹線整備等が見込まれ、短中期的には堅調な推移が予測される。
- ・住宅着工戸数はコロナ禍からの反動で潜在的な需要はあるものの、建築資材の高騰で短期的には横這いで推移。中長期的にも相応の需要を見込む。

■建設業界の課題と継手メーカーの対応

- ・担い手不足
- ・熟練作業員不足
- ・労働環境の改善



- ・簡便なメカニカル継手の開発
- ・ねじ込み継手の生産効率化